

生産量日本一 福山くわい出荷

【平成 30 年 12 月 14 日掲載】

生産量全国1位を誇る福山くわいの出荷が 11 月 13 日(火)から始まりました。今年は7月の豪雨に始まり, 8月の記録的猛暑, 9月の台風など, くわいにとって非常に厳しい天候が続きました。その影響でやや小ぶりなものが多くなっていますが, 全国の市場に昨年並の出荷(約 130トン)が見込まれています。

水生の多年草植物であるくわいは, レンコンなどと同様に湿田で生育します。11 月中旬から12月にかけて行われる収穫作業では, 葉を刈り取った後, ポンプの水圧で株を掘り起こし, 専用のすくい網を用いて地中の芋(塊茎)を丁寧にすくい取ります。

くわいは芋から芽が伸びる形から, 「芽が出る」という縁起物としておせち料理に使われます。近年は JA 福山市がお菓子「くわいっこ」や「くわい焼酎」などの加工品としても販売しています。

福山くわい出荷組合(35 戸, 11.8ha)組合長の喜多村眞次(きたむらしんじ)さんは「産地では高齢化が進んでいるものの, 新たに就農してくれる人もいます。季節を感じられるものとして家族団らんの場で楽しんでもらえるように, 今後も皆で頑張っけて生産を続けていきたい。」と話されていました。当所では, 福山産くわいの安定出荷に向け, 引き続き支援を行っていきます。



【収穫の様子】



【出荷を待つくわい】